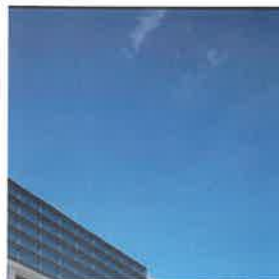


 株式会社 宮崎太陽キャピタル
MIYAZAKI TAIYO
CAPITAL



Company Information
会社案内



企業の付加価値向上による
地域経済活性化に貢献し、
共通価値の創造を目指して参ります。

ごあいさつ

皆さま方には、平素より宮崎太陽キャピタルをお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

当社は、1996年9月の創立以来、宮崎太陽銀行グループの一員として、グループの経営資源や地元銀行系キャピタルならではのネットワークを最大限に活かし、地域に根ざした取り組みを行っております。

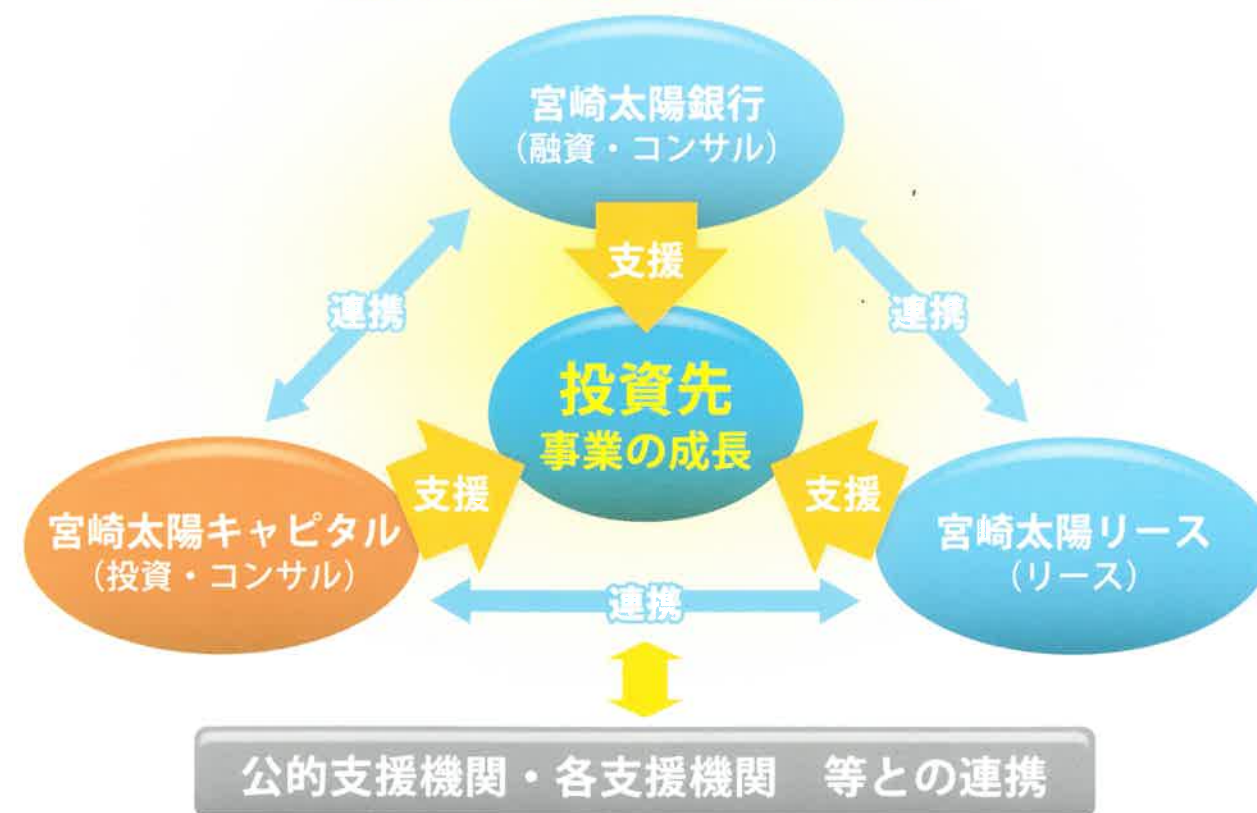
一方、私どもを取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化等の進行により厳しさを増しており、当グループに対して、これまで以上に地域経済の発展に寄与することが求められております。

そのような中、当社は創業や新分野進出、産業振興・雇用創出に取り組まれているお客さま、事業承継問題を抱えられているお客さま等へ、投資業務や経営コンサルティング業務などのご支援を通じて、お客さまと共に成長し、地域経済活性化に更に貢献してまいりたい所存でございます。

今後とも引き続きご支援とご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役 志戸本 和孝

宮崎太陽銀行のグループ会社ぐるみで 地域経済活性化に貢献する



会社概要

社名	株式会社宮崎太陽キャピタル
代表者	代表取締役 志戸本 和孝
所在地	〒880-0806 宮崎市広島2丁目1番31号 宮崎太陽銀行内
創立	1996年9月5日
資本金	1,000万円
株主	株式会社宮崎太陽リース 日本アジア投資株式会社 株式会社宮崎太陽銀行
役職員	10名（2018年6月時点）
事業	株式・社債等への投資業務、 経営コンサルティング、各種産学官の連携

事業実績 運用ファンド実績

- 宮崎県中小企業等支援ファンド投資事業有限責任組合
- みやざき太陽チャレンジファンド投資事業有限責任組合
- JAIC-みやざき太陽1号投資事業有限責任組合
- みやざき未来応援ファンド投資事業有限責任組合
- みやざき未来応援2号ファンド投資事業有限責任組合

業務内容

- ファイナンス
株式出資、新株予約権付社債引受等投資業務
- コンサルティング
創業支援、事業承継、M&A等経営支援、ビジネスマッチング
- 株式公開（IPO）に関するご相談、技術に関するご相談
- 資金調達に関するご相談、その他企業経営に関するご相談

連携支援機関等

- 公益財団法人宮崎県産業振興機構、宮崎県工業技術センター、宮崎県食品開発センター
- 一般社団法人宮崎県発明協会、一般社団法人宮崎県工業会
- 宮崎大学産学・地域連携センター
- 各証券会社、証券代行、証券印刷、監査法人、公認会計士、弁護士、弁理士、税理士、社会保険労務士ほか



株式会社 宮崎太陽キャピタル

〒880-0806 宮崎市広島2丁目1番31号 宮崎太陽銀行内

TEL:0985-60-6395

FAX:0985-60-7092

E-mail: capital@taiyobank.co.jp

<http://www.taiyocapital.co.jp/>

地域の成長マネー供給促進フォーラム

宮崎太陽キャピタルの取組等について

2019年6月13日(木)

株式会社宮崎太陽キャピタル

目 次

I.宮崎太陽キャピタルについて

- i.会社概要
- ii.設立経緯

II.ファンド運用について

- i.これまでのファンド比較
- ii.運用中のファンド実績(地域別:件数/金額)
- iii.運用中のファンド実績(分類別)

III.地域経済活性化への取組み

- i.連携による支援
- ii.事例①
- iii.事例②



I.宮崎太陽キャピタルについて

i.会社概要

名称	株式会社宮崎太陽キャピタル																						
代表者	代表取締役 志戸本 和孝																						
設立	<u>1996年9月5日(平成8年)</u> (宮崎市橘通西3丁目3番27号 旧 宮崎太陽銀行本店内に会社設立)																						
資本金	1,000万円																						
株主	<u>株式会社宮崎太陽リース(50%)／日本アジア投資株式会社(45%)</u> <u>株式会社宮崎太陽銀行 (5%)</u>																						
所在地	〒880-0806 宮崎市広島2丁目1番31号 宮崎太陽銀行内 TEL:0985-60-6395 FAX:0985-60-7092																						
役職員数 (※非常勤・パート含む)	10名(2019年3月末現在)																						
事業内容	投資事業／経営コンサルティング／支援機関等との連携事業																						
事業実績 (運用ファンド)	<table><tr><td>・宮崎県中小企業等支援ファンド</td><td>(設立:平成15年09月)</td><td>共同GP</td><td>F総額2,502百万円</td></tr><tr><td>・みやざき太陽チャレンジファンド</td><td>(設立:平成17年10月)</td><td>単独GP</td><td>F総額 300百万円</td></tr><tr><td>・JAIC-みやざき太陽1号ファンド</td><td>(設立:平成17年10月)</td><td>共同GP</td><td>F総額 300百万円</td></tr><tr><td>・みやざき未来応援ファンド</td><td>(設立:平成26年05月)</td><td>単独GP</td><td>F総額 600百万円</td></tr><tr><td>・みやざき未来応援2号ファンド</td><td>(設立:平成30年10月)</td><td>単独GP</td><td>F総額 600百万円</td></tr></table>			・宮崎県中小企業等支援ファンド	(設立:平成15年09月)	共同GP	F総額2,502百万円	・みやざき太陽チャレンジファンド	(設立:平成17年10月)	単独GP	F総額 300百万円	・JAIC-みやざき太陽1号ファンド	(設立:平成17年10月)	共同GP	F総額 300百万円	・みやざき未来応援ファンド	(設立:平成26年05月)	単独GP	F総額 600百万円	・みやざき未来応援2号ファンド	(設立:平成30年10月)	単独GP	F総額 600百万円
・宮崎県中小企業等支援ファンド	(設立:平成15年09月)	共同GP	F総額2,502百万円																				
・みやざき太陽チャレンジファンド	(設立:平成17年10月)	単独GP	F総額 300百万円																				
・JAIC-みやざき太陽1号ファンド	(設立:平成17年10月)	共同GP	F総額 300百万円																				
・みやざき未来応援ファンド	(設立:平成26年05月)	単独GP	F総額 600百万円																				
・みやざき未来応援2号ファンド	(設立:平成30年10月)	単独GP	F総額 600百万円																				
主な連携先	公益財団法人宮崎県産業振興機構、宮崎大学産学・地域連携センター、 一般社団法人宮崎県工業会、一般社団法人宮崎県発明協会、各証券会社、 公認会計士、弁護士、弁理士、社会保険労務士など																						

I.宮崎太陽キャピタルについて

ii.設立(1996年9月)経緯

地域雇用を支え、地域経済を牽引する
新たな産業の育成・興隆、企業の再生支援
強く求められていた

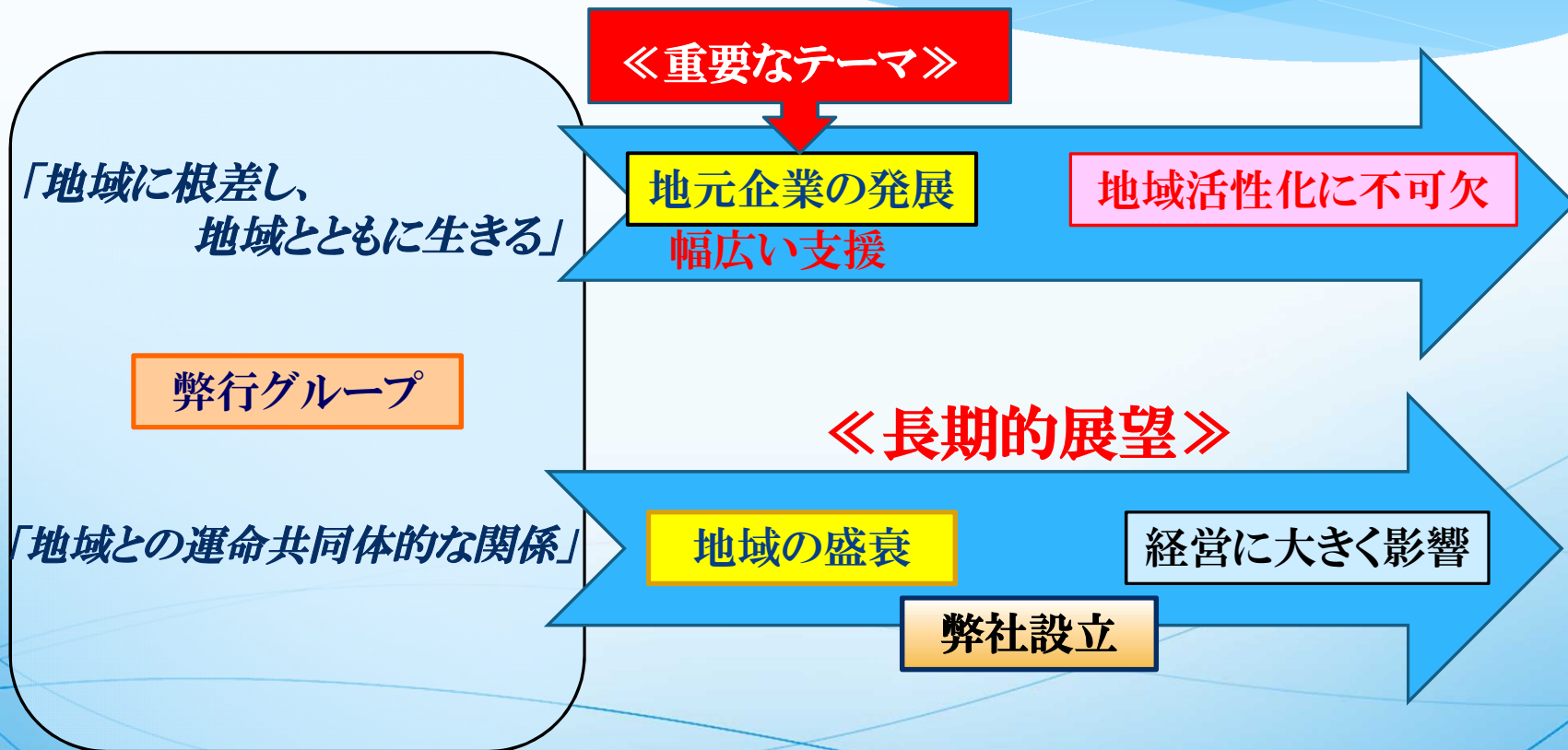
設立の時代背景

- ◆産業の空洞化
- ◆安価な輸入品との競合
- ◆誘致企業の減少
- ◆開業率<廃業率
- etc...

I.宮崎太陽キャピタルについて

ii.設立(1996年9月)経緯

◆設立趣旨



Ⅱ.ファンド運用について

ⅰ.これまでのファンド比較

◆過去運用していたファンド

主な項目 ファンド名	ファンド 出資総額	設 立	運営期間	組合員 :GP	組合員 :LP	ファンド'コンセプト	対象地域	投資内容	投資件数	投資金額
宮崎県中小企業等 支援ファンド	2,502百万円	2003年9月	10年	共同GP (宮銀VC)	宮崎太陽銀行 宮崎銀行 宮崎県産業支援財団	再生の為の 資金繰支援	宮崎県内 限定	株式、CB	3件	860百万円
みやざき太陽 チャレンジファンド	300百万円	2005年10月	10年 +延長1年	単独GP	宮崎太陽銀行 宮崎県産業支援財団	ベンチャー投資	宮崎県内 限定	株式、CB、SB	7件	155百万円
JAIC－みやざき太陽 1号ファンド	300百万円	2005年10月	10年 +延長2年	共同GP (JAIC)	宮崎太陽銀行	ベンチャー投資	九州内	株式、新株予約権	10件	217百万円
								合計	20件	1,232百万円

Ⅱ.ファンド運用について

◆現在運用中のファンド

(2019年3月末現在)

主な項目 ファンド名	ファンド 出資総額	設 立	運営期間	組合員:GP	組合員:LP	ファンドコンセプト	対象地域	投資内容	投資件数	投資金額
みやざき未来応援 ファンド	600百万円	2014年5月	9年8ヶ月	単独GP	宮崎太陽銀行	成長企業支援投資 (地域経済活性化)	宮崎太陽銀行 営業エリア中心	株式、新株予約権、 CB、SB	22件	574百万円
みやざき未来応援 2号ファンド	600百万円	2018年10月	9年2ヶ月	単独GP	宮崎太陽銀行	創業・成長企業 支援投資 (地域経済活性化)	地元(宮崎・鹿児島) 中心	株式、新株予約権、 CB、SB	2件	19百万円
合計									24件	593百万円

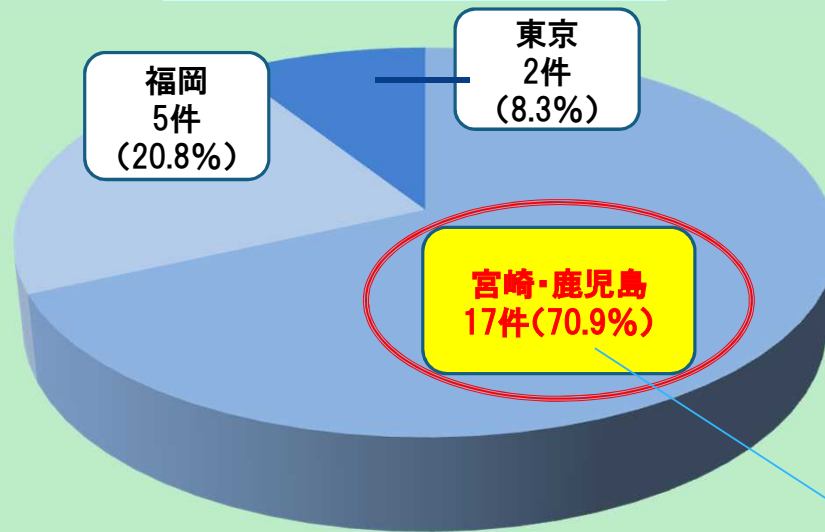
※投資累計【件数:44件、うちIPO:5件、金額:1,825百万円】

Ⅱ ファンド運用について

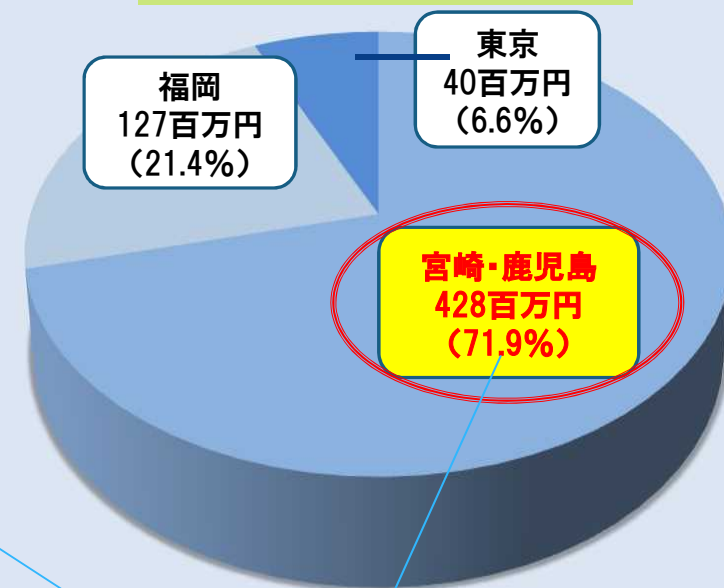
ⅱ 運用中のファンド実績(地域別:件数/金額)

「みやざき未来応援ファンド」・「みやざき未来応援2号ファンド」

地区別投資実績(件数)



地区別投資実績(金額)



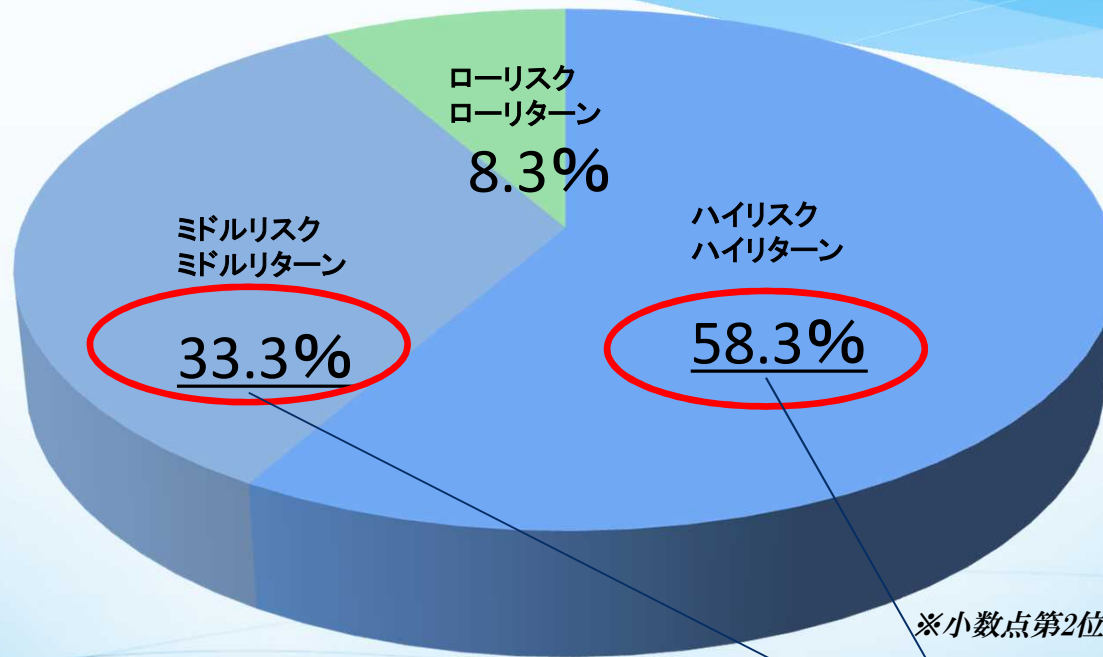
投資件数・金額ともに地元(宮崎県・鹿児島県)で約7割の投資実績

Ⅱ.ファンド運用について

iii.運用中のファンド実績(分類別)

「みやざき未来応援ファンド」・「みやざき未来応援2号ファンド」

分類別実行件数(比率)



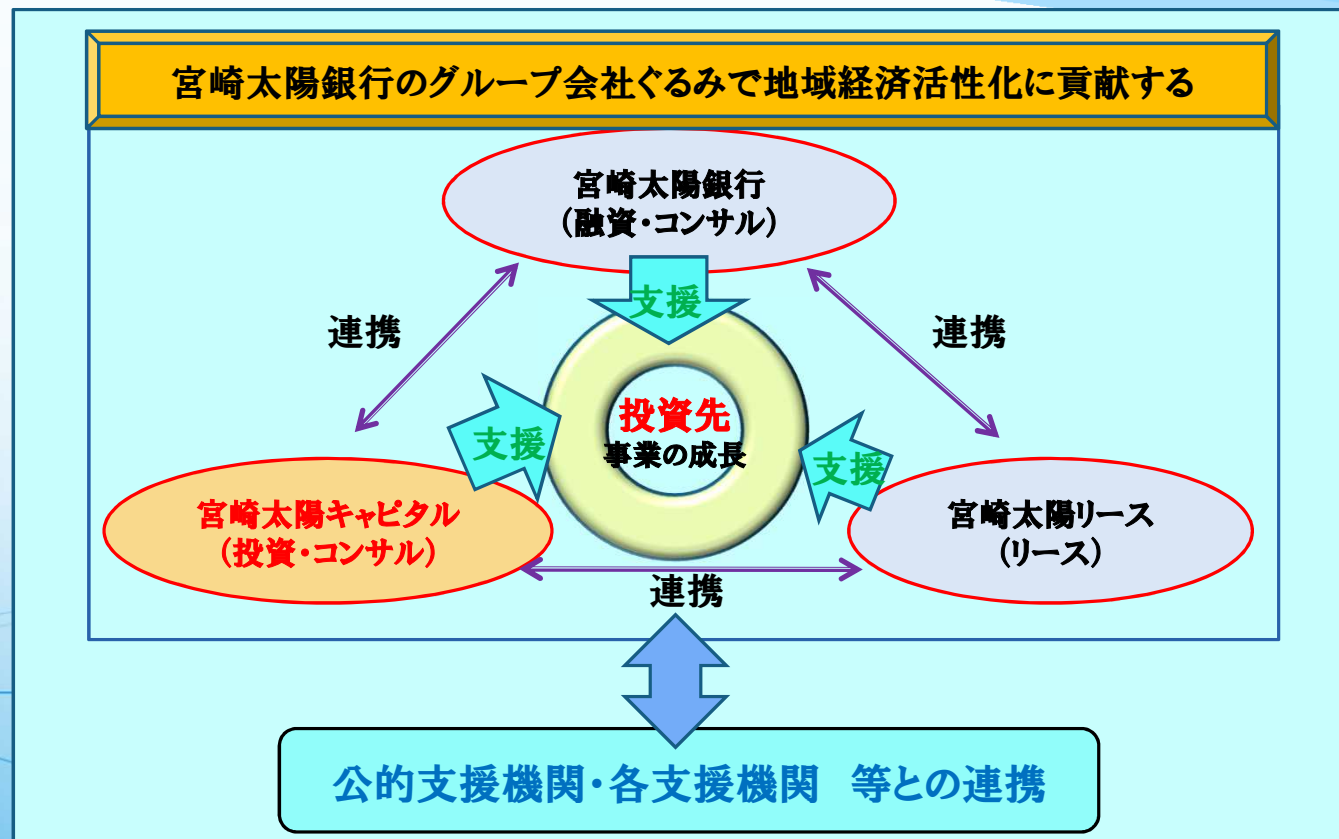
創業、成長・再成長向けの投資比率が9割超

Ⅲ.地域経済活性化への取組み

ⅰ.連携による支援

企業の付加価値向上による地域経済活性化に貢献し、共通価値の創造を目指す

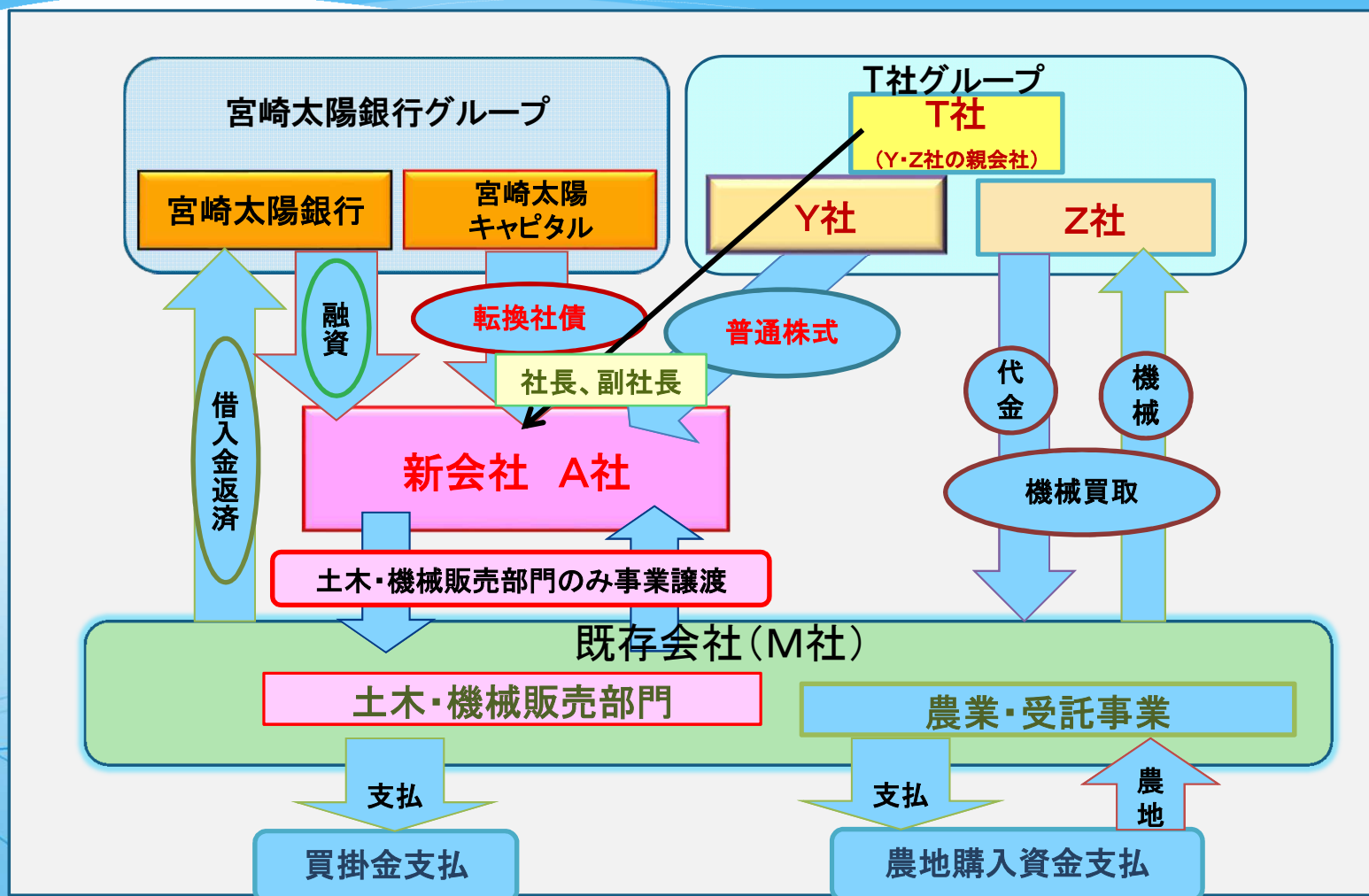
(IPOだけを目指したのではなく、「創業支援」「成長支援」に重きを置いた投資とする)



Ⅲ.地域経済活性化への取組み

ⅱ.事例①

母体行融資および弊社投資、事業会社(Y社)資本参加(3社連携)による企業支援
(成長産業分野への投資)



Ⅲ.地域経済活性化への取組み

Ⅲ.事例②

母体行、日本政策金融公庫、
弊社の連携による企業支援(創業支援)

《事例》

- ・廃校となった小学校(MUKASA-HUB)で開催されたイベントにおいて創業希望者から弊社の職員が相談を受け、農業に関してAIを活用したシステム開発に関する事業性を評価。
- ・日本公庫による資本性ローン、弊社運営のファンドからの投資、母体行による融資で資金を調達。
- ・AIによる営農支援システムを開発。現在、契約先増加に向け取り組んでいる。

財務省ホームページに掲載されました

http://www.mof.go.jp/financial_system/fiscal_finance/renkei/jireisyuu_201904.pdf

《日本公庫との連携によるメリット》

- ・日本公庫が母体行の各地域ブロックで勉強会を実施。行員のスキルアップと担当者間のリレーション強化に繋がっている。
- ・日本公庫と連携した商品を開発したことで、顧客ニーズへの対応領域が広がった。



《「夢サポート」商品パンフレットを一部加工》

ご清聴ありがとうございました。

<http://www.taiyocapital.co.jp>



**MIYAZAKI
TAIYO CAPITAL**

株式会社宮崎太陽キャピタル